

SGH 通信

H30.7.13 No.2

高知県立高知西高等学校

〒780-8052 高知県高知市鴨部 2 丁目 5 番 70 号

TEL 088-844-1221 / FAX 088-844-4823

URL: <http://www.kochinet.ed.jp/nishi-h/>

グローバル探究 I (1 年) の取組

第 8 回 グローバル 探究 I 「職業人 講話」

6 月 13 日 (水) のグローバル探究 I の授業では、10 名の企業人の方を講師としてお招きし、4 つのサブテーマごとに 8 教室に分かれて講話をしていただきました。

【授業のねらい】

- ・講話を聴き、サブテーマに関する知識・理解を深める。
- ・「働くことは付加価値を生み出すことである」という社会の大原則が、いかに大切に気付く。
- ・的確かつ効果的な質問を、グループで協議することを通じて、仲間を導き、説得できるような適切な表現力およびコミュニケーション能力を身につける。

【講師一覧】

株式会社土佐山田ショッピングセンター 代表取締役社長 石川 靖氏	合同会社高知カンパニーグループ 代表 瀬戸口 信弥氏	高知県産業振興センター 戦略支援技術統括 渡部 正二氏	株式会社スイーツ 代表取締役社長 春田 聖史氏	田野屋塩二郎 代表 佐藤 京二郎氏
				

株式会社こうち暮らしの楽校 代表取締役 松田 高政氏	上町池澤本店 代表取締役社長 池澤 秀郎氏	高知県六次産業化プランナー 大久保 憲之氏	株式会社アスイド 代表取締役 嶋崎 裕也氏	大野見七面鳥生産組合 事務局 松下 昇平氏
				

【グループで質問事項を作成】



【高知県を背負う職業人の皆様】



【生徒の感想から】

一時のブームを目指すのではなく「ブランド化」を達成することでリピーターも増え、地域の活性化につながると気づいた。そしてその地域を活性化させるのに一番大切なのは「考えずに飛び込む」こと。塩二郎さんは、常に前向きに仕事を苦にすることなく、365日塩を向き合っている。地元の素晴らしい素材としっかりと向き合い、リピーターを確保することは他の職業でもいえることだし、全国でも通じる術になると思った。

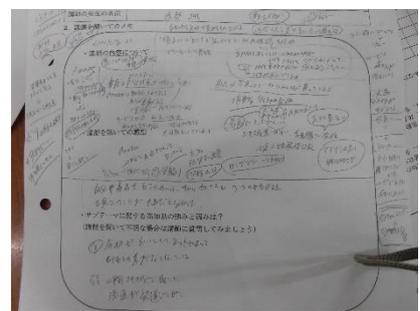
第9回 グローバル探究Ⅰ 「職業人講話」のふりかえり① シェアリング

6月20日（水）のグローバル探究Ⅰでは、先週の職業人講話を振り返り、整理を行いました。各グループで、協議を行い、グループとしての意見をまとめ、発表資料を作成しました。

この活動では、サブテーマについてのシェアリング（共有化）を行うとともに、講話によって得られた知識をもとに、仮説を立て、グループにおける課題発見力・思考力・表現力を身につけることを目的として行いました。

【資料作成のようす】

【しっかりと取られた講話のメモ】



第9回 グローバル探究Ⅰ 「職業人講話」のふりかえり② 発表

6月27日（水）のグローバル探究Ⅰでは、作成した発表資料を使ってグループごとに発表しました。

この活動では、限られた発表時間に、限られた枚数で内容をまとめ、簡潔に発表すること、発表を聞きながら、疑問点を探し、質問をすることで発表内容の理解を深めることを目的として行いました。

【作成された発表資料】

【発表のようす】



【生徒の感想から】

今回のグループ活動を通じて僕が気づいたことは、高知県には他の県よりも優れているところがいっぱいあるけれど、それに対して問題点も多いことが今回のグループ活動で分かった。今回の発表を聞いて、高知県の良さをどうやって生かしていくのか、問題点はどのように工夫して解決していくかを考えていくことが大切だということに気づきました。

聞いたことがない様々なもの（クラフトビールや ALEX）や七面鳥は健康によいということなど、新たなことがたくさん知れた時間だった。皆の発表を見て、高知県の課題の全体像が見えてきた気がする。高知の地理的条件が悪いとなども人口が少ない原因かもしれないが、一番は高知の魅力が他県の人に伝わっていないことだろう。今日聞いた様々な高知の強みを生かして「食と観光」につなげていきたい。